

平成 29 年(2017 年) 5 月 2 日
総合政策部 地域創生推進課
地域エネルギー室

近畿大学
鈴木教授
推奨!

～イモが地球を救う!～

空中栽培によるサツマイモの植え付け会

を開催します

■趣旨・目的

こなんイモ・夢づくり協議会では、近畿大学生物理工学部教授 鈴木高広先生が提唱される空中栽培サツマイモを活用したイモ発電に取り組んでいます。

昨年度については、保育園や小学校、介護施設など 32 ヲ所でサツマイモの空中栽培が行なわれました。採れたサツマイモはスイーツに加工しました。

今年から規格外のイモや茎、葉っぱを使って、メタン発酵実験に挑戦しています。昨年に引き続き、鈴木先生の指導の下、サツマイモの植え付けを行います。

■日時

平成29年5月13日(土) 午前10時～12時 (小雨決行)

* 軽食もあります。

■場所

こなんイモ・夢づくり農園(湖南省石部東4丁目30番地・31番地)

■内容

サツマイモの空中栽培による植え付け

*袋に土を入れ、苗を挿し、棚に並べます。

■主催

こなんイモ・夢づくり協議会

■協力

湖南省 地域創生推進課 地域エネルギー室

■問い合わせ

担当課名: 地域創生推進課 地域エネルギー室

担当者名: 池本・山田

(電話) 0748-71-2302 17時15分以降は、0748-72-1290

(FAX) 0748-72-2000 (メール) energy@city.shiga-konan.lg.jp

親子連れなど約 50 名が参加し、
良い天気の中サツマイモの植え
付けが行われました。



昨年の植え付け会の様子

■講師プロフィール

近畿大学 生物理工学部生物工学科 教授 鈴木 高広



学 位：農学博士

専門分野：バイオマスエネルギー、植物工場、化粧品

研究テーマ：植物工場、環境バイオリクターシステム、
太陽光エネルギーの効率的利用システム

出演番組：フジテレビ「ホンマでっか!?TV」

毎日放送「ちちんぷいぷい」

テレビ朝日「モーニングバード」ほか

著 書：鈴木高広（平成26年）『イモが日本を救う！』
WAVE 出版 ほか

■芋エネルギーについて

国内の芋の平均年間収量は 15 MJ/m²ほどです。

一方、初夏の快晴の日には、農地に1日で 30 MJ/m²も太陽光が降り注いでいます。つまり、太陽光のエネルギーは大量に余っています。太陽光を無駄なくバイオマスに変換するには、空間的に作物を栽培し受光面積を広げればよいのです。日本にはエネルギー資源がないと思われてきました。しかし、国土には毎年 100 年分のエネルギーが空から降り

注いでいます。芋を国内で空間大量栽培すれば、原子力と化石燃料を全量代替するエネルギーとして有望です。水も耕作放棄地も大量にあります。炭酸ガス排出量の大幅削減と食糧問題の解決にも役立つ、芋エネルギーの研究は実用化に近づいてきました。芋の空間栽培法は、日本の年間消費エネルギー2000 万 TJ を毎年供給することができ、化石燃料の輸入費用年 20 兆円を国内農家に振り向け、地域産業を活性化する切り札になります。

イモからできるメタンガスを使った
目玉焼きづくりなどを通して、イモ発電
の仕組みについて学びました



昨年のイモ収穫祭にて実施した
鈴木先生によるメタンガス燃焼実験の様子

空中栽培で土にふれてみませんか？

サツマイモの植え付け会を開催します！

どなたでも参加できます
(グループ、個人等は問いません)

日時：2017年5月13日(土)

午前10時～12時(小雨決行)

★軽食をご用意しています！



場所：こなんイモ・夢づくり農園

(湖南省石部東4丁目30番地・31番地)



昨年は親子連れなど約50名が参加し、
良い天気の中、サツマイモの植え付けを
行いました。
小さな子どもさんも一緒に、サツマイモの
苗植えを体験しました。

育てたイモはスイーツや イモ発電に

- ・おいしいイモスイーツに！
- ・地産地消のエネルギーに！



空中栽培ってなに？

近畿大学の鈴木先生が推奨されている
「空中栽培」でサツマイモをたくさん育てる
ことができます。

土を入れた袋に苗を入れ、棚に置くことで、
露地栽培に比べて単位面積あたり3～8倍
収穫することができます。



・イモ栽培グループ(個人も可)
・協賛者(1口1000円)
も随時募集中！

★問い合わせ先★

こなんイモ・夢づくり協議会 担当 徳永
湖南省石部東一丁目9番26号
電話：0748-76-3792
メール：konan.citizen.energy.project@gmail.com



こなんイモくん

そらいもちゃん